

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	K.M	学部・学科	国際商学部国際商学科
学年	3	派遣国	イギリス
派遣大学	ドumontフォート大学		
期間	2022年9月16日～2023年6月17日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / <u>学外の学生寮</u> / アパート / その他 ()					
部屋	<u>個室</u> / 2人部屋 / 3人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	○
	キッチン	◎	冷暖房	○	冷蔵庫	◎
滞在費	約 (70,900) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (10) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	20,000 円	スーパー
学用品購入費	1,000 円	スケッチブック、ペン
交通費	0 円	
交際費	30,000 円	食事、旅行ホテル、旅行交通費
その他	円	
合計	50,000 円	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

基本的に治安は落ち着いていると思いますが、大学近くの公園は夜にドラッグを売り買いする人がいることと、人が刺される事件があったとのことで、夜の立ち入りは敬遠されました。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(11) ヶ月間	保険料	(104,295) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称	MHS		
加入期間	(11) ヶ月間	保険料	(121,681) 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町 (レスター)
スーパーやレストラン、パブ、ショッピングモールが密集していて全て大学から徒歩圏内にあり、とても学生にとって住みやすい街です。バスに乗ればより大きなショッピングモールにアクセスすることもできます。街中では平日は人が少なく静かですが、休日になると沢山の人が出かけて来て、とても賑やかです。中心地では宗教演説をしている人や、歌を歌っている人などが見受けられます。
徒歩圏内にスタジアムもあるので、サッカーを観戦することもできます。
多国籍で、インド、アラブ、中国など様々な国の人が街中でも大学内でも見られます。ニーハオと声を掛けられることが多かったので、中国系の人が多いのかもしれませんが。レスター大学とドumontフォート大学が近い距離にあることから、学生が多く小さな子供や家族を見ることは少ないです。

【学業編】

1. 大学情報

大学	ドumontフォート大学	所在地	レスター
最寄空港	バーミンガム空港	空港からの距離	電車で2時間
空港⇄大学	(電車) *移動手段		
学生数	27,000	留学生数	2,700
学部	芸術、デザイン、人間科学部 ビジネス・法律学部 健康・生命科学部 コンピュータ・工学・メディア学部 *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	コンピュータ・工学・メディア学部/グラフィックデザインコース *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (10)月～(11)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前		Explanation and Ideation for Graphic Design – Coursework Seminar (GRDN1020-601 + GDIL 1010-601-S1a/01)		GRDN1010-6 + GDIL1010-6 Seminar	GRDN1010-6 + GDIL1010-6 Seminar
午後		Explanation and Ideation for Graphic Design – Coursework Seminar (GRDN1020-601 + GDIL 1010-601-S1b/01)		Explanation and Ideation for Graphic Design Studio (GRDN1010-2022-601-S4/01)	Explanation and Ideation for Graphic Design Seminar (GRDN1010-2022-601-S3/02)

② (11)月～(1)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前		Applied idea Development for Graphic Design Seminar (GRDN1020-602 + GDIL 1020-602-S1a/01)		GRDN1020-6 + GDIL1020-6 Seminar	GRDN1020-6 + GDIL1020-6 X

午後		Applied idea Development for Graphic Design Seminar (GRDN1020-602 + GDIL 1020-602-S1b/01)		Explanation and Ideation for Graphic Design Studio (GRDN1020-2022-602-S4/01)	Explanation and Ideation for Graphic Design Seminar (GRDN1020-2022-602-S3/02)
----	--	-------------------------------------------------------------------------------------------	--	------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------

③ (2)月～(3)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前		Visual Communication for Graphic Design seminar (GRDN1030-603 + GDIL 1030-603-S1a/01)		GRDN1030-6 + GDIL1030-6 Seminar	GRDN1030-6 + GDIL1030-6 Seminar
午後		Visual Communication for Graphic Design seminar (GRDN1030-603 + GDIL 1030-603-S1b/01)		Explanation and Ideation for Graphic Design Seminar (GRDN1030-2022-603-S3/01)	Explanation and Ideation for Graphic Design Seminar (GRDN1030-2022-603-S4/02)

③ (4)月～(6)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前		Creative Resolution for Graphic Design seminar (GRDN1040-604 + GDIL 1040-604-S1a/01)		GRDN1040-6 + GDIL1040-6 Seminar	GRDN1040-6 + GDIL1040-6 Seminar

午後		Creative Resolution for Graphic Design seminar (GRDN1040- 604 + GDIL 1040-604- S1b/01)		Explanation and Ideation for Graphic Design Seminar (GRDN1040- 2022-604- S3/01)	Explanation and Ideation for Graphic Design Seminar (GRDN1040- 2022-604- S4/02)
----	--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------

3. 履修内容

科目	Exploration and Ideation for Graphic Design		
履修期間	10月～12月	単位数	30
授業内容／形態	<p>このモジュールは、有意義な問題解決を通して、デザイン概要に対する革新的な解決策を生み出すための発想力の開発をサポートすることを目的としており、学生は基本的なデザイン原理に対する理解と認識を深めます。このモジュールでは、効果的なコミュニケーションを通してコンセプトを探求し、プレゼンテーションするためのツールを提供する実践的かつ技術的なスキルを学びます。このモジュールでは、創造的な好奇心を奨励し、デザイン・ソリューションの中で内省的な洞察力を活用できるようにします。このレベル4の発想と探求のモジュールでは、学生は実践的な演習と創造的なブリーフをサポートするために、基礎的なデザインの原則についての講義を受けます。演習は、実践的、伝統的、および新しいメディアスキルの習得と同様に、アイデア発想プロセスの探求をサポートするように設計されています。</p>		
成績	62		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Applied Idea Development for Graphic Design		
履修期間	12月～2月	単位数	30
授業内容／形態	<p>このモジュールでは、適切なデザイン概要のための効果的な解決策を生み出すために、学生が創造的なテーマで実験を行う、アイデア・スキルの応用と評価を探求します。このモジュールでは、学生は実践的かつ技術的なスキルの習得と連携して、デザインの原則を理解し、効果的なコミュニケーションを通してアイデア発想のプロセスを応用し、洗練させることができます。このモジュールでは、学生が創造的な好奇心と水平思考を可能にし、境界を押し広げ、遊び心のある探求を通してリスクを取ることを奨励し、主題の理論的理解を探求し、適用することを奨励しています。学生は、実践的な問題解決をサポートするために、アイデア発想とデザイン原理の応用に関する講義を受け、スタジオを利用した演習では、学生が原理を理解していることを証明できるようにデザインされます。学生は、探索的な方法で問題解決を促し、ラテラルシンキングをサポートし、反復的なデザインプロセスを構築する創造的なブリーフを設定します。</p>		
成績	67		

YCU 振替予定	科目	
	単位数	
	担当教員	

科目	Visual Communication for Graphic Design		
履修期間	2月～4月	単位数	30
授業内容／形態	<p>このモジュールでは、グラフィックデザインの文脈で記号論を理解し適用するための基本原則を紹介し、学生のビジュアル・コミュニケーション・スキルを高めることを目的としています。学生は、製品、サービス、クライアント、視聴者の関係を探求し、クリエイティブな成果がすべてのステークホルダーと共鳴することを確認します。このモジュールでは、最終的な提案やデザインコンセプトのコミュニケーションをサポートするための実践的でテクニカルなスキルも学びます。学生は、記号論、聴衆のフック、コミュニケーション戦略に関する講義を受講し、伝統的なメディアと新しいメディアの両方の実践的なスキルをスタジオベースのデザイン演習でサポートします。クリエイティブ・ブリーフでは、批判的な判断と問題解決を通して、観客との有意義な関係を作り出すことを目的としたデザイン・ソリューションへの洞察を与えるための調査を促します。</p>		
成績	58		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Creative Resolution for Graphic Design		
履修期間	4月～6月	単位数	30
授業内容／形態	<p>このモジュールでは、クライアントとデザイナーの関係性の中で、洗練と精巧さについての理解を深め、デザインプロセスの解決策を探り、ブリーフの要件について考察しながら、聴衆に対して成功するビジュアルコミュニケーションの原則を探求します。学生は、専門的な実践の中でデザインソリューションを分析し、戦略的な意思決定とプロジェクトの成功を評価します。分析と考察を通して、学生は必要なデザイン開発と改良を評価できるようになります。このモジュールでは、デザインの選択をうまく伝えるための実践的・技術的スキルを学びます。学生は、デザイン開発、ビジュアル・コミュニケーション、洗練された戦略に関する講義に出席し、伝統的なスキルと新しいメディアスキルの両方の実践的なスタジオを基にしたのデザイン演習によってサポートされます。クリエイティブ・</p>		

	ブリーフでは、聴衆との有意義な相互作用の開発をサポートすることを目的としたデザイン・ソリューションへの洞察を提供するための調査を促します。	
成績	57	
YCU 振替予定	科目	
	単位数	
	担当教員	

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

イニシャル	K.M	学部・学科	国際商学部国際商学科
学 年	3	派遣国	イギリス
派遣大学	ドモントフォート大学		
期 間	2022年 9月 16日～ 2023年 6月 17日		
プログラム	交換留学プログラム		

< 留学先大学での履修内容 >

科目	Exploration and Ideation for Graphic Design
講義内容	基礎的なデザインの原則についての講義、新しいメディアスキルの習得、Adobe Photoshop の基礎知識、応用
科目	Applied Idea Development for Graphic Design
講義内容	歴史的な出来事に関するリサーチの上、6 週間かけポスターを作製、Adobe Illustrator の基礎知識、応用、書体の分析と新しい独自のフォントの作成
科目	Visual Communication for Graphic Design
講義内容	リーフレットを 6 週間かけて作成、画期的な説明書の作成 記号論、クライアントを設定した製品作成 Adobe InDesign の基礎知識、応用
科目	Creative Resolution for Graphic Design
講義内容	ブランディング (アプリや経験的デザインの設計、ブランドツールキットの作成、既存ブランドのリサーチと比較、顧客の設定)、アニメーション After Effects の基礎知識、応用
科目	
講義内容	
科目	
講義内容	

<総括>

(1) 全体的な感想 *留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

行く前は 1 年も耐えられるだろうかなど不安でいっぱいでしたが、結果的に何一つ生活でも学校でも困ることはなく、むしろ日本にいるときよりずっと心が軽く楽しく過ごすことができ、日本に帰国した今も同じ気持ちで過ごすことができているので、行ってよかったと思います。

行く前は自分の発言や自分自身に自信が持てることを期待していましたが、行ってみて異国での一人暮らしが何も問題なくできたこと、友達をたくさんつくることのできたことなど、自分自身に大きな変化は感じませんが一人の大人としての自信がついたと思います。行く前は退屈で将来にチアする不安が大きく、留学で何か変わればいいなと思っていましたが、留学に行ったからといって自動的に自分の人生が大きく変わることはありませんでした。どこにしようと、基本的に自分が 1 日 1 日どういう行動を積み重ねていくのかが自分の人生を決めるのだと学びました。最初の段階で友達を作れば、後は友達の方から遊びに誘ってくれることが多く、自分から働きかける必要が思ったよりあまりなかったので楽だなと思いましたが、自分自身の向上に関しては自分を毎日律して自分から行動するしか道はないと気づきました。イギリスに行った当初からあまり海外にいるという実感がわかず、なにも困ることがなかったというのは逆に言えば日本にいるのと変わらない生活が送れてしまうということです。もっと IELTS のスコアを上げるために勉強すればよかったなど留学中のできなかつた後悔はありますが、そこから結局目標にむかってしっかり努力しなければ何も成し遂げる子はできないのだと学び、これもいい経験だったと思います。

留学を通して心が軽くなった理由の一つは、イギリスは多国籍で見た目や言語が違う人がたくさんいるだけでなく、年齢が平均より高い人も大学に行き、修士をやっている人にもたくさん会ったことで、焦らなくていいのだと安心できたことだと思います。

多国籍と言えば、行く前は英語が拙い留学生とわざわざ友達になりたがる人は少ないだろう、やアジア人以外の外国人に引け目を感じていましたが、行ってみて案外みんな日本人と変わらず普通なのだなと気づきました。宗教や文化は違いますが、英語が下手でも優しくしてくれる人や輪に入れてくれる人はたくさんいるし、本当にいい人たちが世界中にたくさんいることを知りました。1 年暮らしたことで、自分が気づかぬうちに人の見た目や考え方に対する視野が広がり成長出来たと思います。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400字以上)

英語が話せて聞けるということは大きなアドバンテージだと思うので、引き続き学習は進めていきたいと思います。そして英検一級などの資格を取り、就職活動で留学の成果を示すことができるように準備したいです。

留学して言語は面白いと感じ、英語だけでなく、前から自主勉強していた韓国語の勉強も進めたいです。

専攻したグラフィックデザインに関しては、学習を続けるかはわかりませんが、同じ学部の仲間やアニメーションの学部の人などクリエイティブな科目を専攻する人たちと友人になり、絵は続けていきたいなと思いました。絵で仕事が取れるように頑張りたいと思います。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400字以上)

多額のお金をかけて、留学をする意味があるのかなどと思うかもしれませんが、きっと留学に行ったら帰ってくる時に行ってよかったと思えるはずで、人生の財産になります。世界中に友達ができ、日本以外を旅行して、楽しい思い出がたくさんできます。

授業が難しくついていけなくても、助けてくれる友達は海外にもたくさんいます。おすすめはたくさん友達を作ることです。イベントがあればできるだけたくさん参加し、学部内でも学部内でも沢山の人に話しかけて友達になれば、その後の生活がずっと楽になると思います。

日本人の友達を作っておくのも悪くないと思います。旅行に行く際に一人では危険なこともあるので友達に同行してもらいたい際には、現地の友達だと家族と住んでいるなどの理由からあまり旅行に行きたがらないかもしれません。外国人の友達だと旅行の計画を立てる時に大変ですが、日本人だと会話しやすくスムーズに旅行の計画が立てられると思います。外国人の友達との交流も大切ですが、日本人の友達がいればいざというときに助けてもらいやすいですし、留学生活がより楽しくなるかもしれません。